

雪がよく降るようになり寒くなってきました。しかし、そこまで積もることもなく、思っていたほど寒さを感じていません。12月3日から冬学期が始まりました。今回の報告書では、冬学期の受講科目、今月のイベント、料理、Home stay について記述します。

冬学期の受講科目

今学期に授業している科目は以下のとおりです。

Intermediate2 Reading
Intermediate2 Writing
Intermediate2 Conversation
Intermediate2 Grammar
Intermediate2 Vocabulary
Listening Comprehension
Communication Projects

それぞれの科目の内容について説明します。

Intermediate2 Reading (3 hours)

教科書に沿って進む。まず、文章がありそれを読んで、授業では、True-False Question と選択問題を解く。Writing 問題や Crossword puzzle が Home work として、出されることが多い。それを授業の始めに答え合わせをするその繰り返しです。

Intermediate2 Writing (4 hours)

トピックについてのディスカッションから授業が始まる。そのトピックに必要な Vocabulary を学習する。Home work は、そのトピックについての英文記述です。その内容をディスカッションし、またそれを修正するといった感じで授業が進行する。

Intermediate2 Conversation (2 hours)

Home work として、授業の予習が出される。内容は、会話に必要な表現の穴埋め問題です。内容自体は、難しくはないですが、知らない表現が結構あって、こんな言い方もあるのかとすごく勉強になることが多いです。授業では、2人1組になり、徹底的にそれらの表現を練習する。ひたすら、しゃべり続けるといった授業です。

Intermediate2 Grammar (4 hours)

授業は、プリントの問題を解いてそれを答え合わせしていくという形式である。Home work は、教科書の問題に加えて、配られるプリントの問題を解くというものである。もちろん答え合わせは授業の始めにします。

Intermediate2 Vocabulary (2 hours)

Vocabulary の授業というより Writing の授業といったほうが正しいのかもしれない。先生が単語の意味を説明していきその単語を使って英文を書くといった授業スタイルです。Home work でもその単語を使った英文を書くというものが出題される。授業のペースが遅いのでとうてい教科書は

終わらず、学べる Vocabulary の数は限られます。なので、あまりこの授業は好きではありません。Vocabulary については、空き時間を使って自分で勉強しています。

Listening Comprehension (3 hours)

この科目は、少し説明しづらいです。分節がいくつあるかやアクセントはどの位置かなど基本的なことをして実際に CD を聞いて練習するという授業スタイルです。たまに映画を観たりもします。

Communication Projects (3 hours)

何かを調べて、レポートを書きそれを発表するという流れで授業が進みます。少しレポート書く時間がかかるのと発表練習をしなければいけないので大変ですが、非常に楽しく、役に立つ授業だと思います。

今月のイベント

今月は ELC で 2 つと I-House で 1 つイベントが行われました。その詳細について記述します。

Rochester Museum

Our Body: The Universe Within という展示を見ました。人体模型や体と各部分の模型など事細かに展示してありました。なかなか興味深かったです。

EAST VIEW MALL

EAST VIEW MALL というきれいで大きなモールに買い物ではなくて映画を観にいきました。アメリカで映画を観るのは、初めてなので内容が分かるか心配でした。観た映画は、日米同時公開の I Am Legend という映画でした。心配していたほどではなかったのですがまだ理解が及ばないところが分からないところがありました。映画を観ることは自分のリスニングの力を見るためにはいいと思いました。

Secret Santa

誰かのためにクリスマスプレゼントを買う。クリスマスプレゼントを買う相手は、くじによって決まります。そのプレゼントをラウンジに置いてあるクリスマスツリーの下に置き。そのプレゼントは、誰からのプレゼントか推測しあうといったものです。いかにもプレゼントらしいプレゼントから明らかに受けを狙ったプレゼントまであり、見ているだけでも楽しめました。

料理

私の住んでいる I-House の地下には、共同キッチンがあります。キッチンだけでなくラウンジになっていてビリヤード台もあります。学生のコミュニケーションの場所といった感じです。ホームステイからロチェスター工科大学に戻ってすぐに友人と韓国料理店に行きました。その帰りに Asian Food Market という主に中国、日本、韓国の食品を扱うスーパーに連れて行ってもらいました。そこで、料理酒とみりんを見て料理したいという気持ちになりました。高い食費を大学に納めているためなかなか料理をしようという気が起きませんでした。そのことがきっかけでたまに料理をするようになりました。アメリカに来て初めて作ったのが、肉じゃがと鳥の照り焼き。どうしてこの 2 つになったかという食材の関係です。とはいえアメリカで薄切りの牛肉を見つけるのは困難でした。

Home stay

12月22日から1月6日までは、大学が休みになって寮からも出て行かなければなりません。そのため、今回も Home stay をすることにしました。今回は、今年の夏に KIT に来ていた Bryce Cooney 君の家でお世話になることになりました。彼の家は、ペンシルベニア州のランカスターというところにあり、だいたいロチェスターから車で5時間30分かかります。

24日は、Bryce 君と Bryce 君のお姉さんと一緒に彼らの両親のクリスマスプレゼントを買いに行きました。その日は彼らの両親も子どもたちのクリスマスプレゼントを買いに出かけていました。それらプレゼントを翌日、お互いに開けあうのです。25日は、家族全員で彼らの親戚の家を訪れました。そこで Cooney 家の親戚一同集まったのクリスマスパーティーが行われました。メニューは、ハム、ビーフスープ、カニ、インゲン豆のクリームソース和え、パイナップルプディングなどでした。ハム、ビーフスープ、カニがおいしいのはいうまでもありませんがパイナップルプディングはすごくおいしかったです。食事が終わるとここでもプレゼント交換。アメリカ人にとってクリスマスプレゼントは日本で言うお年玉のようなものなのだと感じました。

クリスマスパーティー以外にもパーティーをしたり、ニューヨークシティに連れて行ってもらったり、frisbeeゴルフをしにいたり、などこのホームステイは、私にとって楽しいものとなりました。

留学期間も2か月をきり残すところわずかとなってしまいました。残りの一日一日を大切に過ごし留學生活が良かったと言えるようにしたいと思います。